授業科目名・形態	基礎看護技術演習Ⅰ（日常生活援助）演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	小畑千春　他	実務経験の有無	有	開講期	1年前期
科目ナンバリング	N4-1006npmht				

【授業の主題】

基礎看護技術論Ⅰで学んだ日常生活を営む上で必要な援助に関する知識や技術を活用し、日常生活援助を安全・安楽に実施するための看護技術の実際を学ぶ。

【到達目標】

1. 日常生活の援助に関する基礎知識とその根拠を理解できる。
2. 日常生活の援助（快適な環境整備、食事、排泄、活動、休息、清潔など）を安全・安楽に実施するための基本技術を習得できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション　手洗い方法・演習における留意事項など
第 2 回　環境調整技術（1）　環境調整、ベッドメーキング
第 3 回　環境調整技術（2）　ベッドメーキング
第 4 回　活動・休息援助技術（1）　基本的活動の援助　体位・体位変換
第 5 回　活動・休息援助技術（2）　移動、移乗・移送
第 6 回　清潔・衣生活援助技術（1）寝衣交換
第 7 回　清潔・衣生活援助技術（2）全身清拭
第 8 回　清潔・衣生活援助技術（3）洗髪
第 9 回　清潔・衣生活援助技術（4）部分浴（手浴・足浴）
第 10 回　排泄援助技術（1）床上排泄
第 11 回　排泄援助技術（2）浣腸、陰部洗浄
第 12 回　ヘルスアセスメントの実際（1）バイタルサイン測定①
第 13 回　ヘルスアセスメントの実際（2）バイタルサイン測定②
第 14 回　ヘルスアセスメントの実際（3）バイタルサイン測定③
第 15 回　看護技術の総合演習

【授業実施方法】

基本的には演習形式で行う。

【事前・事後学修】

基礎看護技術論Ⅰで学んだ知識と技術を復習し、演習にのぞんでください。復習には、教科書や参考図書掲載の動画及び図書館にある視覚教材等を視聴し、イメージトレーニングを行うこと。
講義内容に関する事前学習および講義内容を踏まえた復習はそれぞれ毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ

【教科書等】

基礎看護技術論Ⅰと同様

【参考文献】

基礎看護技術論Ⅰと同様

【成績評価方法】

技術チェック（90%）、演習態度・課題レポート（10%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療法人の病院で看護職として患者への看護業務の実践、業務基準に関する指導や教育の経験があります。そこで経験した看護実践をもとに、看護技術の原理・原則の必要性等を伝えたいと思います。

【学生へのメッセージ】

看護技術の基本となりますので、予習・復習をしっかり行ってください。特に技術は授業以外でも何度も練習を重ねることが大事です。患者さんに安全で安楽な看護技術を提供できるよう知識・技術を習得しましょう。